

2015年1月9日  
株式会社日立製作所

## 日立が台湾の交通部台湾鐵路管理局より振子式特急電車車両 16 両を追加受注



振子式特急電車車両(2006年納入時)

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO：東原 敏昭／以下、日立)は、このたび、台湾の交通部台湾鐵路管理局(Taiwan Railway Administration／以下、TRA)より、TEMU1000形振子式特急電車車両 16 両(2 編成)を追加受注しました。本車両は 2015 年度中に納入され、2016 年 6 月以降の運行開始が予定されています。

世界の鉄道市場は安定的に成長しており、2015 年から 2017 年にかけて年間 20 兆円規模になるといわれています。台湾でも年間旅客数が 9 億 7 千万人(2013 年、前年比 105%)に増加するなど、鉄道インフラの需要が高まっています。

日立は、TEMU1000 形車両を 2006 年および 2007 年に 24 両ずつ、計 48 両(6 編成)を製造・納入しており、本車両は 2007 年 5 月より台湾初の振子式特急電車として営業運転されています。運行区間は台湾西部の斗六(ドウリュウ)から台北を經由し、曲線区間の多い北部の沿海付近を抜け、東部の寿豊(ショウフォン)までの、総営業距離 443km の路線です。本車両は東部の主要都市である花蓮近郊の景勝地「太魯閣(タロコ)渓谷」にちなみ「太魯閣号」と名付けられています。振子式車両を導入することで、曲線区間の多い路線でも既存のインフラをいかしたまま、高速性と快適性を向上させてきました。

今回、日立は、TRA から TEMU1000 形車両において約 8 年間の運行実績およびアフターサービス、乗り心地、デザイン、品質・信頼性等で高い評価を受け、追加受注に至りました。受注した車両数は 16 両(2 編成)で、2015 年 1 月より製造を開始し、2015 年度中に車両を納入する予定です。

日立は、国内最大の振り式特急車両および制御付自動振り装置の納入実績を有しており、技術力と信頼性で高い評価を受けています。本車両はコンピュータ制御による自動振り装置を搭載しており、曲線区間に差し掛かると自動的に曲線度合に合わせて車体を最大 5 度傾斜させることにより、快適な乗り心地を維持しつつ、制御付自動振り装置を搭載していない車両に比べ、曲線通過速度の時速 25km 向上を実現しています。

日立は今後も、品質および信頼性の高い鉄道車両を提供することにより、台湾の鉄道インフラの更なる発展に寄与するとともに、鉄道システムのグローバル展開を加速していきます。

#### ■ 振り式特急電車車両のスペック

車 種	TEMU1000 形電車
編 成	8 両編成 (4M4T)
電 気 方 式	AC25kV 60Hz 架空電車線方式
軌 間	1,067mm
営 業 最 高 速 度	130km/h
設 計 最 高 速 度	150km/h
起 動 加 速 度	2.2km/h/s
制 御 装 置	VVVF インバータ制御 (IGBT 素子)
保 安 装 置	ERTMS/ETCS Level1

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---